

2026年12月期 第1四半期 決算補足説明資料

2026年 5月 8日

 **立川ブラインド工業株式会社**

(東京証券取引所 プライム市場 証券コード 7989)

- 1. 2026年12月期 第1四半期決算概況 P.03**
- 2. 2026年12月期 業績予想 P.10**

1. 2026年第1四半期決算概況

- ・ 第1四半期における業績は、景況感の回復や需要の取り込みにより、全セグメントにおいて増収・増益を達成し、好調な滑り出し
- ・ 駐車場装置関連事業が売上・利益ともに大幅に伸長し、業績を牽引

2. 2026年12月期 業績予想

- ・ 今後の中東情勢の動向によっては、原材料の調達状況に影響を及ぼす可能性があるが、現時点では当面の生産に必要な材料は確保
- ・ 連結業績予想については、現時点において2026年2月10日に公表した予想の変更なし
(今後、状況の変化により連結業績予想を修正する必要がある場合は、速やかに公表)



1. 2026年12月期 第1四半期決算概況

連結業績

- ・ 室内外装品関連事業では前年に実施した主力ファブリック製品のリニューアルや価格改定効果、駐車場装置関連事業ではパズルタワーの新設物件の増加などがあり、連結売上高は増収。
- ・ セグメントの売上構成比の変動や、原材料などの製造コストの増加により売上総利益率が低下するも、売上高の増加影響が大きく、各段階利益で増益。

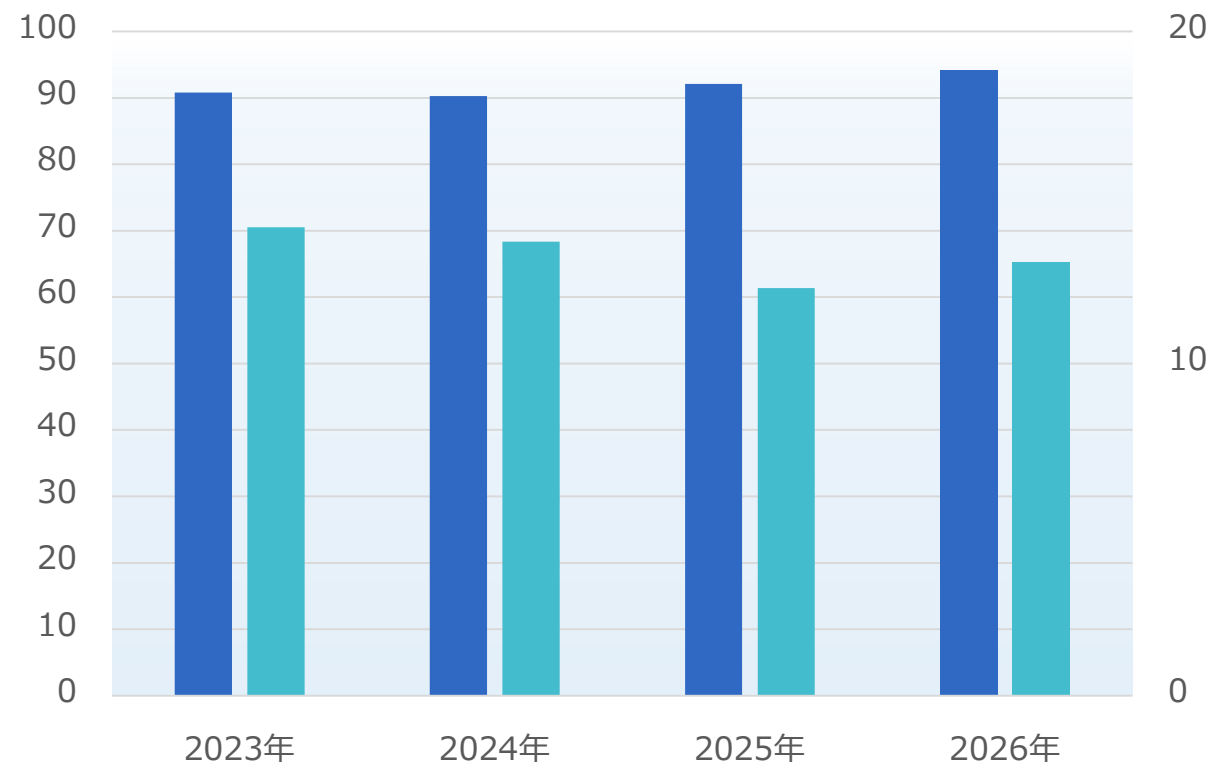
(単位：百万円)

	2026年度第1四半期			2025年度第1四半期	
	金額	構成比	前年比	金額	構成比
売上高	11,353	100.0%	108.0%	10,513	100.0%
売上総利益	4,773	42.0%	105.0%	4,546	43.2%
販売費及び一般管理費	3,207	28.2%	99.9%	3,211	30.5%
営業利益	1,566	13.8%	117.3%	1,335	12.7%
経常利益	1,604	14.1%	118.5%	1,353	12.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,064	9.4%	100.1%	1,062	10.1%

室内外装品関連事業

- ・ 調光タテ型ブラインド「エアレ」において、意匠性の高い生地や遮光生地の新色などのラインナップを拡充。
- ・ 前年にリニューアルした主力ファブリック製品や、調光ファブリック製品、電動製品の売上が伸長。
- ・ 原材料価格が上昇する中、前年4月に実施した販売価格改定の影響もあり増益。

売上：億円



利益：億円

売上高	前年比
94億13百万円	102.2%
営業利益	前年比
13億 5百万円	106.4%

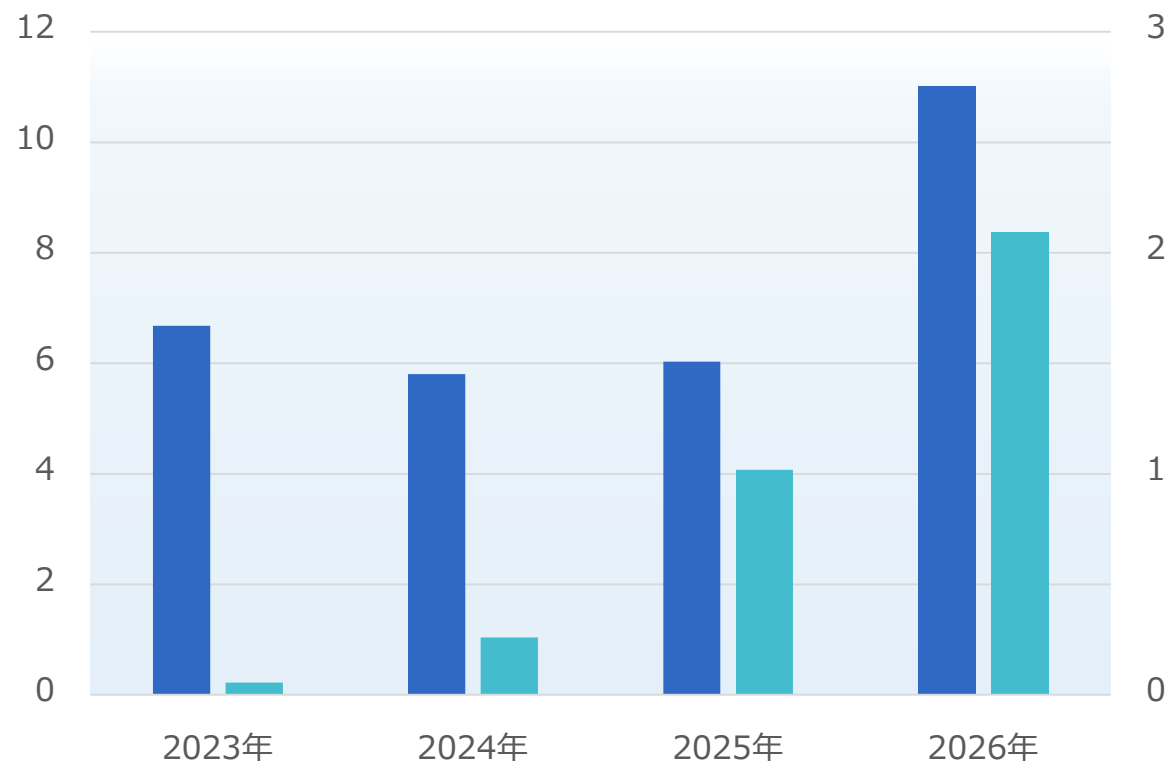


駐車場装置関連事業

- ・パズルタワーの新設工事が増加したほか、既設物件に対する改修案件が堅調に推移。
- ・利益率が相対的に低いパズルタワーの売上が増加したことで、全体の利益率が低下するも、売上高の増加により増益。

売上：億円

利益：億円



売上高

前年比

11億 1百万円

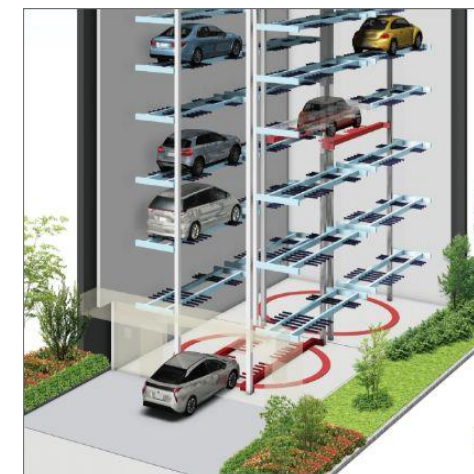
182.7%

営業利益

前年比

2億 9百万円

205.6%

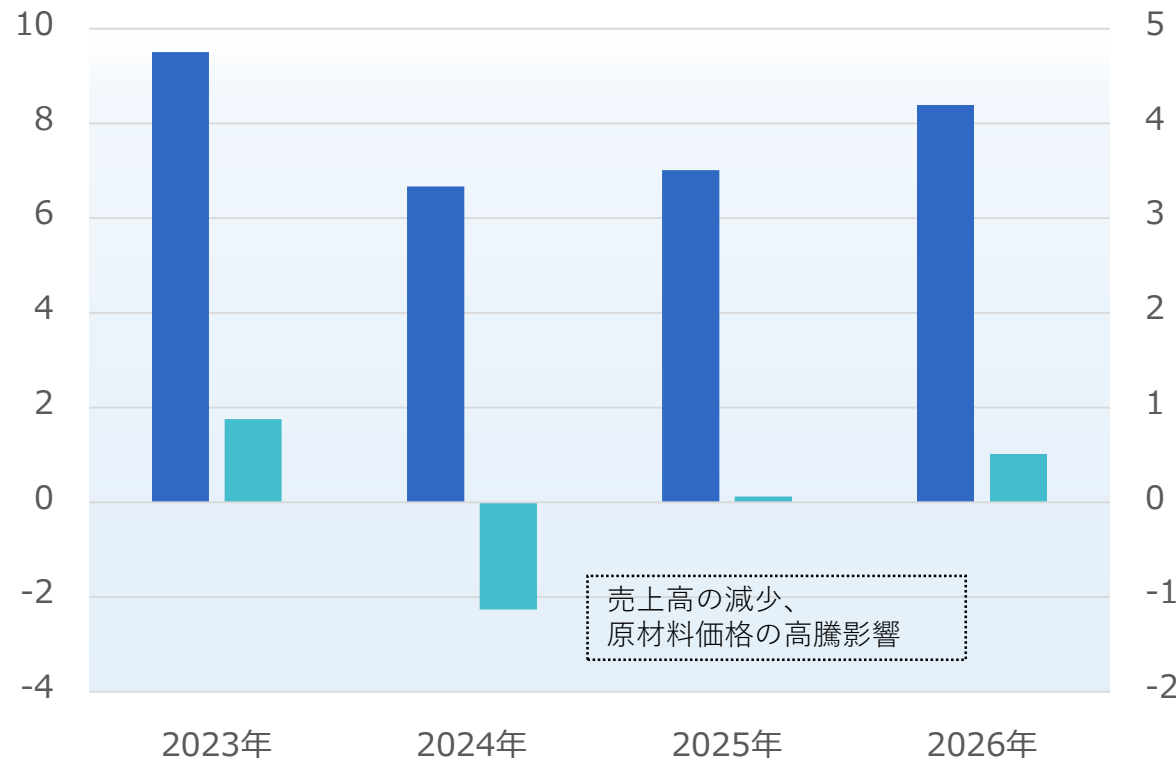


減速機関連事業

- ・ 産業用工作機械需要が回復する中、汎用減速機の売上が増加。
また無人搬送台車（AGV）等の需要増加に対応した製品が増加し増収。
- ・ 価格改定効果による影響や、オーダー製品の売上増加により、増益。

売上：億円

利益：億円



売上高

前年比

8億38百万円

119.5%

営業利益

前年比

51百万円

842.5%



- ・ 中四国支店の建設や、自社所有の建物の改修工事などの設備投資を進め、固定資産が増加。
- ・ 株主還元の強化による配当の実施により、純資産の増加を抑制。

単位：百万円

項目	2025年 12月末	2026年 3月末	増減
流動資産	41,228	40,287	△941
固定資産	26,506	26,884	+377
流動負債	8,669	7,589	△1,080
固定負債	2,712	2,899	+187
純資産	56,353	56,682	+329
総資産	67,735	67,171	△563
自己資本比率	83.2%	84.4%	+1.2%

主な増減要因

- 現預金△1,605（設備投資、配当による減少）
 - 棚卸資産+437
 - 有形固定資産+122（中四国支店建設、新製品金型、札幌支店改修工事）
 - 有価証券+501（1年内償還分振替）
 - 投資有価証券△118（流動資産へ振替、株価上昇）
-
- 未払金△623
 - 設備電子記録債務△424
-
- 利益剰余金+59（利益計上、配当）
 - 有価証券評価差額金+265

- ・ 営業活動によるキャッシュ・フローは堅調に増加。
- ・ 現預金は札幌製作所移転計画における建設費用の支払や、期末配当金の支払により減少。

単位：百万円

項目	2025年 1Q	2026年 1Q
営業活動による キャッシュ・フロー	+693	+823
投資活動による キャッシュ・フロー	△321	△ 1,015
財務活動による キャッシュ・フロー	△659	△ 1,024
現金及び現金同等物の 増減額(前年同期比)	△303	△ 1,205
現金及び現金同等物の 期末残高	14,673	13,908

主な増減要因

- 営業活動
 - ・ 税金等調整前利益+1,604
 - ・ 賞与引当金の増加+483
 - ・ 売上債権の減少+307
 - ・ 棚卸資産の増加△433
 - ・ 法人税の支払△893
- 投資活動
 - ・ 有形固定資産の取得△1,044
- 財務活動
 - ・ 配当金の支払△1,007



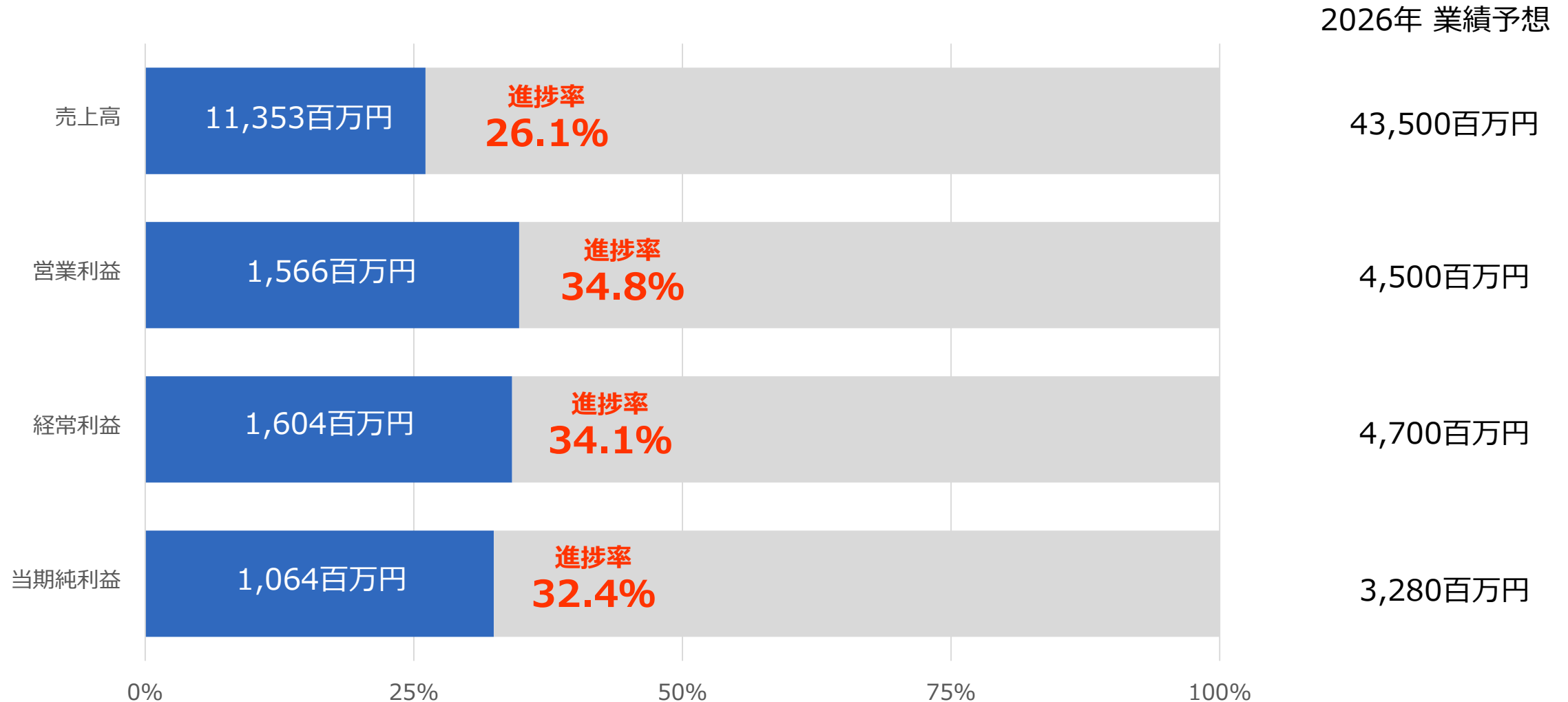
2. 2026年12月期 業績予想

今後の中東情勢の動向によっては、原材料の調達状況に影響が及ぶ可能性があるが、現時点で必要な材料の確保は継続しており、業績予想の修正は行わない。

単位：百万円

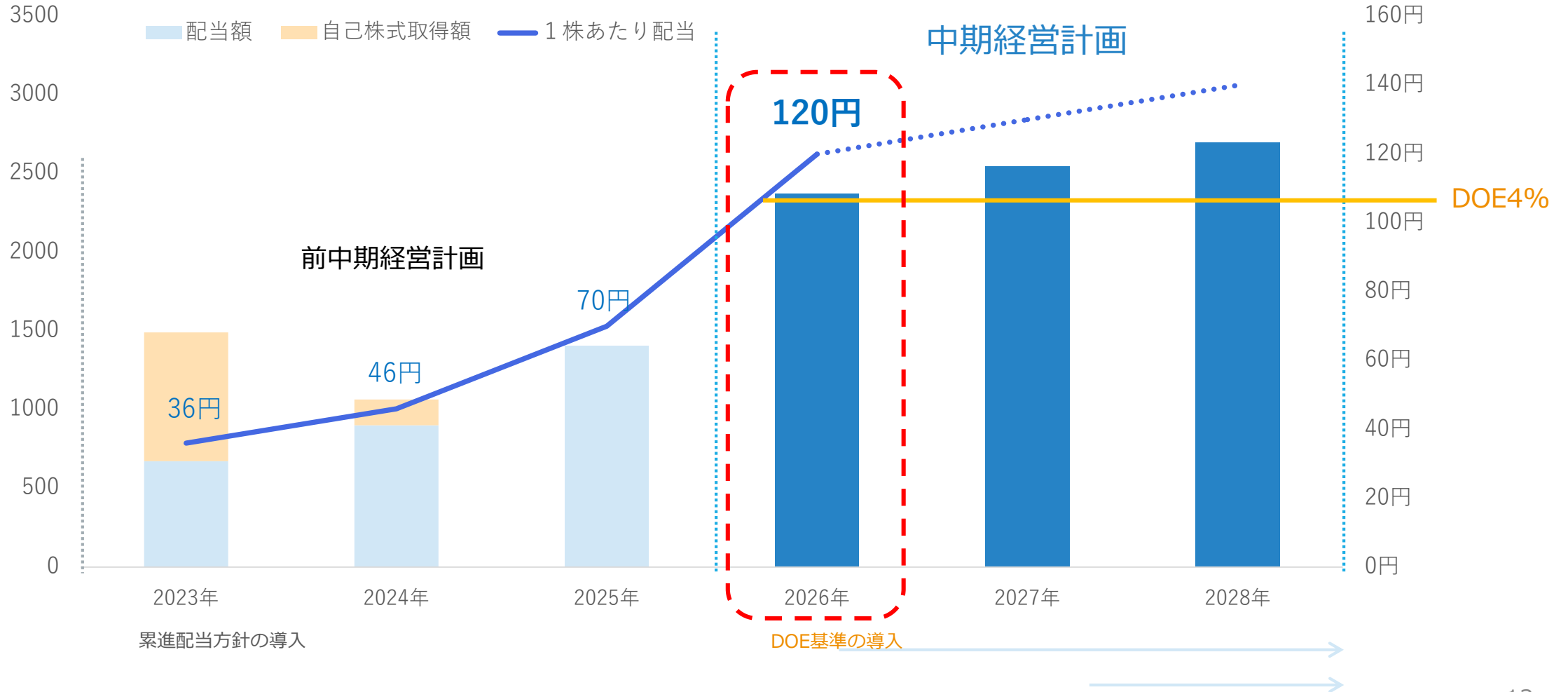
連結	2026年		2026年	
	第2四半期業績予想	前年比	通期業績予想	前年比
売上高	21,500	103.5%	43,500	102.1%
営業利益	2,300	109.8%	4,500	102.0%
利益率	10.7%		10.3%	
経常利益	2,400	109.7%	4,700	101.5%
利益率	11.2%		10.8%	
当期純利益	1,580	91.1%	3,280	101.2%
利益率	7.3%		7.5%	

【業績の進捗】 業績は堅調に推移しており、利益については年初予想を上回る進捗。



株主還元はDOE4.0%を下限とし、累進配当を継続しながら年間配当 1株120円以上をコミット。
上記方針に基づき、2026年度は1株120円の年間配当を実施予定。

単位：百万円



将来見通し等に関する注意事項

本資料における当社グループの今後の計画、戦略等の将来見通しに関する記述は、現時点で予測可能な合理的判断に基づいて作成されたものであり、実際の業績は、今後様々な要因で異なる場合がございます。

〔 東京証券取引所 プライム市場 証券コード7989 〕

【お問合せ先】 経理部 IR推進課
03-5484-6128 / tachikawa-ir@blind.co.jp
<https://www.blind.co.jp>